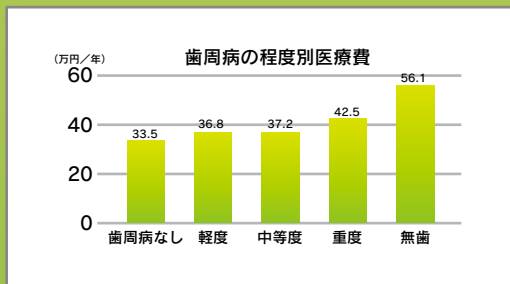


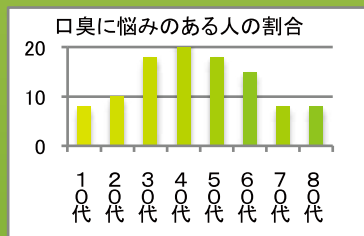
また、歯周病が進行している人など、口の中の健康状態が不良な人は、将来的に歯科以外も含めた医療費が多くかかる傾向にあります。歯科健診を受診することで、歯周病を早期に発見し、早期治療することができれば、80歳になっても自分の歯を20本以上保ち、生活の質を向上させることが可能となり、結果的に医療費の増加を抑制します。



「香川県老人医療適正化に関する検討委員会」より

事業所のイメージアップ

エチケット上、誰もが気になる「口臭」は、ほとんどの場合、歯周病によって引き起こされます。



「厚生労働省：保健福祉動向調査」より

時として、「口臭」は、相手に対し不健康なイメージを与え、職場間、事業所間の関係にデメリットをもたらしかねません。



現代の世の中は「見た目重視」の風潮が強くなってきています。

貴社従業員の健康的なイメージは事業所のイメージアップへとつながります。

事業所での歯科健診の受診方法

歯科医師が事業所に出向いて健診する方法(事業所対応方式)と、歯科医院で直接受診する方法(医院対応方式)の2通りの方法があります。

<事業所対応方式の利点>

- ・自分の職場で受診できます。
- ・事業所の予定(日程等)にあわせて歯科健診を行えます。

<医院対応方式の利点>

- ・勤務終了後など、自由な時間に健診へ行くことができます。
- ・事業所や自宅近くの歯科医院、かかりつけの歯科医院などを選択できます。

あなたの健康は家族みんなの願いです

口の中の病気は、歯がなくなるだけではなく、全身の健康を失うリスクを高めます。

これら疾患を未然に防ぎ、健康でいることは、働く皆さんや家族にとっての幸せです。



お問い合わせは

一般社団法人 佐賀県歯科医師会

TEL(0952)25-2291

FAX(0952)22-7586

〒840-0045 佐賀県佐賀市西田代 2-5-24

発行 一般社団法人 佐賀県歯科医師会

がばいおいか! 1

働く皆さんの お口の健康を守るために

～事業歯科健診のすすめ～



全身の健康には、口の中の健康が欠かせません。しかし、40歳以後の働き盛りの年齢から「歯周病」のため、急速にたくさんの歯を失っていく方々の割合が増加します。また、「歯周病」は糖尿病や心臓病などを悪化させることがわかっています。

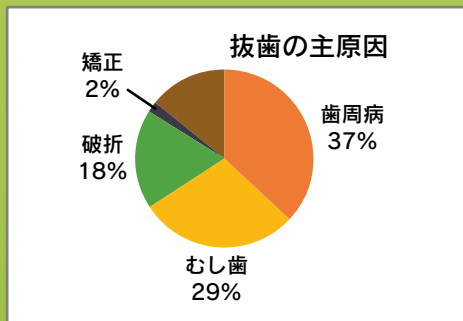
事業所で働く皆さんの口の中の健康を守るために、佐賀県歯科医師会では事業所歯科健診を推進しています。

一般社団法人 佐賀県歯科医師会

歯を失う原因

人が歯を失う2大疾患は、「歯周病(歯槽膿漏)」と「むし歯」で約8割を占め、そのなかで「歯周病」が原因のトップとなっています。

歯周病は、最も多い感染症として「ギネスブック」に記録されているのです！！

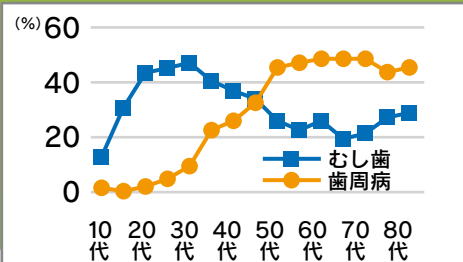


「財団法人 8020推進財団:永久歯の抜歯調査報告」より

「働き盛り」年代から歯がなくなる！！

歯を失う主な原因である「歯周病」は40歳代でむし歯を逆転します。まさに「働き盛り」年代になられた働く皆さんは、歯周病が急速に増加している年代でもあるのです。

抜歯における原因別の割合



「財団法人 8020推進財団:平成30年永久歯の抜歯調査報告」より

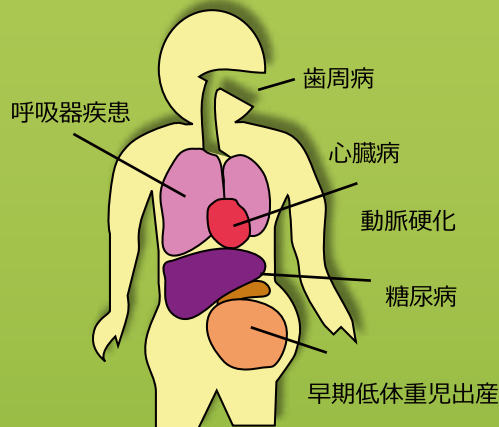
大切な歯を失う主な原因である「歯周病」は、皆さんの気づかぬうちに進行し、発見されたときには最悪の場合、手遅れ(抜歯)の可能性が高くなります。

これら歯周病の初期段階の変化を見つけ出し、口の中の健康を保つためには定期的な歯科健診が必要となります。

歯だけではなく「全身」の健康も損なう

歯周病の原因菌がつくる毒素や炎症を引き起こす物質と、原因菌自体が血液を介し全身を巡ることで、糖尿病や心臓病などの生活習慣病のリスクを何倍にも高め、全身に悪影響を及ぼす可能性があります。

歯周病が全身に及ぼす影響



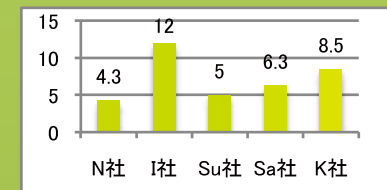
また、今話題のメタボリックシンドロームの改善(脂肪燃焼)には、よく噛んで食べることが効果的です。このように、しっかり噛んで食べるためには、歯の健康が重要であり、歯周病の予防は、生活習慣病の予防にとっても大切といえます。

このように、歯周病やその他の生活習慣病も生涯を通じてコントロールし続けなければならないという共通点があり、定期的な専門家による健診でのチェックが非常に重要です。



歯科健診を受けることによる事業所の利点 生産性の向上

むし歯や歯周病による急な痛みや治療で、予定外に仕事を休まなければならないことは、予想以上に多くあります

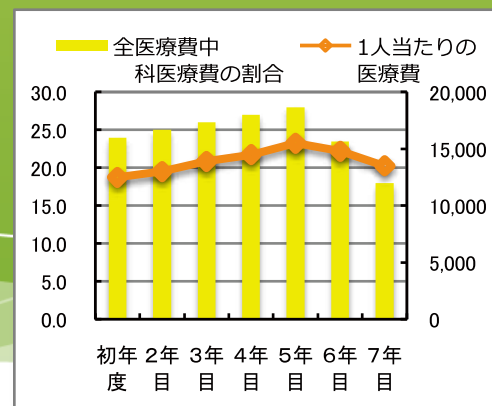


過去1年間に1日以上歯科疾患で休業した人の割合

このような不健康状態は、作業能率の低下、就業意欲の減退、職場の人間関係への悪影響など事業所の不利益につながります。

そこで、定期的に歯科健診を受診することによって口腔内の疾患を未然に防ぐことは、事業所の生産性の向上にもつながり、結果的に事業所にとっても有益となります。

歯科を含めた医療費の節減



(費用対効果の図)

上のグラフのように、歯科健診の導入後は、当初、歯科医療費は上昇しますが、継続的に行うことで低下傾向を示してきます。